

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2005-141808 (P2005-141808A)  
 【公開日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-021  
 【出願番号】特願 2003-375290 (P2003-375290)  
 【国際特許分類】

**G 1 1 B 7/24 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/007 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 7/24 5 4 1 D

G 1 1 B 7/24 5 3 1 Z

G 1 1 B 7/24 5 6 1 M

G 1 1 B 7/24 5 6 1 Q

G 1 1 B 7/007

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 1 月 30 日 (2007.1.30)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

厚さ 0.1 ~ 1.0 mm の基板の上に、色素を含有する追記型記録層と、厚さ 0.1 ~ 1.0 mm の保護基板と、をこの順に有する光情報記録媒体であって、

前記基板に形成されるプリグループのトラックピッチが 200 ~ 600 nm、溝幅が 50 ~ 300 nm、溝深さが 30 ~ 200 nm であり、ウォブル振幅が 10 ~ 50 nm であることを特徴とする光情報記録媒体。

【請求項 2】

前記ウォブル振幅が 15 ~ 33 nm であることを特徴とする請求項 1 に記載の光情報記録媒体。

【請求項 3】

前記色素が、シアニン色素、オキソノール色素、金属錯体系色素、アゾ色素、又はフタロシアニン色素であることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の光情報記録媒体。

【請求項 4】

厚さ 0.1 ~ 1.0 mm の基板の上に、色素を含有する追記型記録層と、厚さ 0.1 ~ 1.0 mm の保護基板と、をこの順に有する光情報記録媒体に対し、該基板若しくは該保護基板側から波長 100 ~ 600 nm のレーザ光を照射し、当該追記型記録層にピットを形成することで記録を行う光情報記録方法であって、

前記基板に形成されるプリグループのトラックピッチが 200 ~ 600 nm、溝幅が 50 ~ 300 nm、溝深さが 30 ~ 200 nm であり、ウォブル振幅が 10 ~ 50 nm であることを特徴とする光情報記録方法。

【請求項 5】

前記追記型記録層にピットを形成する際に、波長 390 ~ 415 nm のレーザ光を照射することを特徴とする請求項 4 に記載の光情報記録方法。

【請求項 6】

前記ウォブル振幅が 15 ~ 33 nmであることを特徴とする請求項 4 又は請求項 5 に記載の光情報記録方法。

**【請求項 7】**

前記色素が、シアニン色素、オキソノール色素、金属錯体系色素、アゾ色素、又はフタロシアニン色素であることを特徴とする請求項 4 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の光情報記録方法。